



2022年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月10日

上場会社名 ベイシス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4068 URL <https://www.basis-corp.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 公孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 高野 竜介 TEL 03(5769)2141
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第2四半期の業績（2021年7月1日～2021年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年6月期第2四半期 | 3,063 | - | 251 | - | 249 | - | 158 | - |
| 2021年6月期第2四半期 | - | - | - | - | - | - | - | - |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年6月期第2四半期 | 87.66 | 84.87 |
| 2021年6月期第2四半期 | - | - |

(注) 当社は、2021年6月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2021年6月期第2四半期の数値及び2022年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年6月期第2四半期 | 2,825 | 1,497 | 53.0 |
| 2021年6月期 | 2,672 | 1,237 | 46.3 |

(参考) 自己資本 2022年6月期第2四半期 1,497百万円 2021年6月期 1,237百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年6月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2022年6月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2022年6月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年6月期の業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,941 | 21.4 | 445 | 16.1 | 439 | 19.9 | 277 | 16.2 | 153.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年6月期2Q | 1,824,400株 | 2021年6月期 | 1,758,100株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年6月期2Q | 37株 | 2021年6月期 | -株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年6月期2Q | 1,808,873株 | 2021年6月期2Q | -株 |

(注) 1. 当社は、2021年3月17日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

2. 2021年6月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) キャッシュ・フローの概況 | 2 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2021年7月1日から2021年12月31日）におけるわが国の経済は、第1四半期においては新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置の実施がなされました。10月以降につきましては、各種感染防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、一般的に景気は持ち直しの動きが続いておりますが、変異株の流行などにより、依然として収束時期が見通せない状況にあり、先行き不透明な状況が続いております。また、半導体不足がサプライチェーンに与える影響が高まり、経済活動の重石になるなど、業種ごとに強弱が見られました。

このような経済環境ではありますが、弊社においては新型コロナウイルス感染症及び半導体不足による業績への影響は限定的であります。また、当社の事業領域である情報通信分野においては、通信キャリア各社が楽天モバイル株式会社に対応してグループのサブブランドを使った通信料の値下げを行っており、これにより将来のインフラ投資に影響を与える可能性があります。一方、IoTエンジニアリングサービスで展開しているスマートメーター設置サービスではガス業界におけるスマートメーター設置が進み、計画を上回る売上を計上しております。また、電力業界におけるスマートメーターについては、前々事業年度に設置計画はほぼ完了したものの、機器の不具合による交換作業の追加受注あり、こちらも計画を上回る売上を計上しております。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高3,063百万円、営業利益251百万円、経常利益249百万円、四半期純利益158百万円となりました。

なお、当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、サービス別の売上内訳といたしましては、モバイルエンジニアリングサービス2,441百万円、IoTエンジニアリングサービス519百万円、及びその他102百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における資産合計は、前事業年度末に比べ153百万円増加し、2,825百万円となりました。流動資産は128百万円増加し、2,616百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の増加227百万円、現金及び預金の減少95百万円によるものであります。固定資産は25百万円増加し、209百万円となりました。主な要因は投資有価証券の増加20百万円、ソフトウェア仮勘定の増加11百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ106百万円減少し、1,328百万円となりました。流動負債は76百万円減少し、1,313百万円となりました。主な要因は未払法人税等の減少49百万円、未払金の減少15百万円によるものであります。固定負債は30百万円減少し15百万円となりました。要因は長期借入金の減少30百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期末における純資産合計は、前事業年度末に比べ259百万円増加し、1,497百万円となりました。主な要因は四半期純利益158百万円、新株式発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ50百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較して95百万円減少し、当第2四半期末残高は839百万円となりました。当第2四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、101百万円の支出となりました。税引前四半期純利益が247百万円、売上債権の増加額227百万円及び法人税等の支払額が127百万円となったこと等を要因としたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、52百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が20百万円及び無形固定資産の取得による支出が13百万円となったこと等を要因としたものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、58百万円の収入となりました。これは、主に株式の発行による収入が88百万円及び長期借入金の返済による支出が30百万円となったこと等を要因としたものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の通期の業績予想につきましては、2021年8月10日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年6月30日) | 当第2四半期会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 935,195 | 839,876 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,290,790 | 1,518,531 |
| 仕掛品 | 232,267 | 225,685 |
| 前払費用 | 28,710 | 29,770 |
| その他 | 973 | 2,406 |
| 流動資産合計 | 2,487,936 | 2,616,270 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 16,096 | 11,541 |
| 減価償却累計額 | △10,491 | △7,070 |
| 建物(純額) | 5,604 | 4,471 |
| 工具、器具及び備品 | 9,357 | 11,304 |
| 減価償却累計額 | △8,309 | △8,004 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,048 | 3,299 |
| 有形固定資産合計 | 6,653 | 7,771 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 43,058 | 39,906 |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,713 | 13,297 |
| その他 | 39 | 39 |
| 無形固定資産合計 | 44,811 | 53,242 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | - | 20,000 |
| 繰延税金資産 | 34,868 | 34,868 |
| 破産更生債権等 | 49 | - |
| その他 | 98,190 | 93,720 |
| 貸倒引当金 | △49 | - |
| 投資その他の資産合計 | 133,059 | 148,588 |
| 固定資産合計 | 184,523 | 209,602 |
| 資産合計 | 2,672,460 | 2,825,872 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年6月30日) | 当第2四半期会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 327,362 | 316,362 |
| 短期借入金 | 500,000 | 500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 60,000 | 60,000 |
| 未払金 | 61,892 | 46,473 |
| 未払費用 | 141,552 | 153,144 |
| 未払法人税等 | 152,432 | 102,764 |
| 賞与引当金 | 17,158 | 67,900 |
| 預り金 | 63,000 | 15,180 |
| その他 | 66,742 | 51,954 |
| 流動負債合計 | 1,390,141 | 1,313,781 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 45,000 | 15,000 |
| 固定負債合計 | 45,000 | 15,000 |
| 負債合計 | 1,435,141 | 1,328,781 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 277,396 | 328,154 |
| 資本剰余金 | 228,196 | 278,954 |
| 利益剰余金 | 731,726 | 890,285 |
| 自己株式 | - | △302 |
| 株主資本合計 | 1,237,319 | 1,497,091 |
| 純資産合計 | 1,237,319 | 1,497,091 |
| 負債純資産合計 | 2,672,460 | 2,825,872 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日) |
|------------|--|
| 売上高 | 3,063,928 |
| 売上原価 | 2,291,839 |
| 売上総利益 | 772,088 |
| 販売費及び一般管理費 | 520,616 |
| 営業利益 | 251,472 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 2 |
| 受取手数料 | 281 |
| 受取保険金 | 634 |
| その他 | 110 |
| 営業外収益合計 | 1,029 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 2,885 |
| 株式交付費 | 403 |
| 営業外費用合計 | 3,288 |
| 経常利益 | 249,213 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 1,763 |
| 特別損失合計 | 1,763 |
| 税引前四半期純利益 | 247,449 |
| 法人税等 | 88,891 |
| 四半期純利益 | 158,558 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日) |
|-------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 247,449 |
| 減価償却費 | 25,214 |
| 固定資産除却損 | 1,763 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △49 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 4,900 |
| 受取利息 | △2 |
| 支払利息 | 2,885 |
| 株式交付費 | 403 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △227,740 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 6,581 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △11,000 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △13,521 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 11,624 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | △2,444 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △16,765 |
| 小計 | 29,298 |
| 利息の受取額 | 2 |
| 利息の支払額 | △2,917 |
| 法人税等の支払額 | △127,925 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △101,541 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,385 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △13,728 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △20,000 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △9,935 |
| 保険積立金の積立による支出 | △5,006 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △52,056 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △30,000 |
| 株式の発行による収入 | 88,581 |
| 自己株式の取得による支出 | △302 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 58,279 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △95,318 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 935,195 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 839,876 |

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2021年7月28日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による募集株式の発行52,300株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ49,078千円増加しております。この結果、当第2四半期累計期間における新株予約権の行使による募集株式の発行を含めて、当第2四半期会計期間末において資本金が328,154千円、資本剰余金が278,954千円となっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準等第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、収益認識会計基準等の適用による、当第2四半期累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響はありません。